

情報連絡一覧票 (石川県中央会・平成19年8月分)

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	食料品	調味材料製造業	前月の醤油出荷量は、前年同月に比べ大幅に減少した。依然として低迷が続いている。
		パン・菓子製造業①	前年度に比べ、売上高は大幅に減少している。
	繊維・同製品	織物業①	販売価格は上昇するも、原材料及び副資材費の上昇に追いつけず、やや悪化気味である。
		織物業②	絹分野においては、輸入品の圧迫、需要の減少などの影響により厳しい状況が続いている。合繊分野では、高密度スポーツ素材において一部で堅調な動きが見られる。
		その他の織物業	前年同月に比べ全体的に若干のプラスとなったが、景況感は依然として悪く、今後の動向に注視しなければならない状況にある。国内の消費も低迷しているように感じる。
	木材・木製品	製材業、木製品製造業①	売上高、販売数量とも増加した。地元アテ材の販売も順調であり、昨年よりも購買意欲が出て来た様に見受けられる。
		製材業、木製品製造業②	前月に引き続き価格は下げ基調であり、予想以上に回復が悪い。メーカー側の減産体制も継続中であり、輸入材の過剰入荷の整理も現段階では調整しきれていない模様で、需要者側は様子を見ている。
	窯業・土石製品	生コンクリート製造業	県内の生コンクリート出荷状況は、前年同月比96.6%のマイナスで推移した。地区状況は、南加賀、鶴来・白峰、七尾、能登地区がプラスとなったものの、金沢、羽咋・鹿島地区がマイナス出荷となった。
		粘土かわら製造業	全国的に新築着工数の減少が続いており、大変厳しい状況にある。今後は、着工数の減少分を葺替工事の掘り下げと復興工事の需要がカギとなる。
		陶磁器・同関連製品製造業	食品衛生法改正 (鉛害問題) について行政との会合の場を持ち、業界の現状報告と今後の支援について話し合った。
		碎石製造業	8月の組合取扱い出荷量は、前年同月に比べ生コン向け出荷量が10.3%減、合材用アスファルト向け出荷量が31.8%減となり、全出荷量では12.7%減と大きく減少した。また生産コスト面では、原油や消耗部品等の値上りが収益を圧迫しており、非常に厳しい経営状況にある。
	鉄鋼・金属	鉄素形材製造業①	景況は比較的安定しているものの、企業間格差が目立ってきている。要因として、鑄造方法、営業力、技術力の相違が影響しているものと思われ、企業努力ともあわせて組合としての対応も考えていかなければならない。
		鉄素形材製造業②	前月と同様に特に変化は生じていないが、原材料の高騰等の影響は楽観出来ず厳しい状況にあり、より一層の経営努力が必要となっている。
		非鉄金属・合金圧延業	売上高は、前月に比べ約4%減少したが、その他では特に変化は認められなかった。
		一般機械器具製造業	徐々にではあるが、工作機械等の販売が落ち込んできている。
	一般機器	機械金属、機械器具の製造	前月に引き続き、若干余裕を持った操業を維持しており安定した状態である。建設機械、工作機械、繊維機械の主力3業種は、海外向け需要を中心に堅調な足取りは変わらないため、先行きに対する不安材料は顕在化していない。
プレス、工作機械		小型工作機械業界は低調に推移しているため、受注が減少している。大手自動車メーカーの設備投資に期待が高まる。	
機械器具及び其の他金属製品の製造		前月と同様にワーカー不足が当分続きそうである。	
繊維機械製造業		当組合の主要取引先である繊維機械メーカーの生産は好調が続いており、年内いっぱいには持続する見込みである。	
その他の製造業	漆器製造業②	日用品業界における中国製品の安全性問題や近年の原材料費高騰にともなう価格転嫁による製品値上げ等のマイナス要因に加えて、産地内の小売額も山中温泉の観光客数減少に伴い大きくダウンしている。山中漆器伝統産業会館の入館者数も平成19年は1~2月の増加傾向が一転して3月~8月は前年対比約20%の減少となっている。	

情報連絡一覧票 (石川県中央会・平成19年8月分)

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	繊維品卸売業	化学合繊の分野においては、原料の高騰が売上不振を招いているという声もある。衣料、インテリア関係も悪いと聞く。
	農畜産物・水産物卸売業	売上高は予想以上に減少した。業界の先行きについて好転材料が見当たらず心配である。
	一般機械器具卸売業	8月は稼働日数が少なく苦戦した。前月に比べ気温が高く推移し、エアコンの売上が伸び、なんとかしのいだという感じである。エアコンも前年に比べ約10%ほど売上が伸びたということである。
小売業	百貨店・総合スーパー	8月の売上は、前年比104.1%と前年を上回った。8月は1店舗が改装工事、2店舗が退店し、それによる専門店街全体の売上減又は改装及び閉店セール等の影響を考えると若干好調であったと思われる。その他として、ファッション部門は前月に比べ、売り上げが伸びている。暑さによる影響と思われる。お盆は客数も売上も前年並みであった。
	男子服小売業 婦人・子供服小売業	前月から転じて記録的な猛暑と厳しい残暑に見舞われ、前年を上回る事を多に期待したが、暑さの品揃えへの対応、メーカーサイドの在庫が底を付いた商品もあり、前月の不調分をカバー出来ずに対前年比95.8%で推移した。
	鮮魚小売業	お盆前の入荷量は順調であったが、白身魚は例年通り高値で推移した。お盆明けは入荷量が少なく高値で推移した。
	米穀類小売業	米穀小売の現況は、9月の新米の様子見の状況で、価格面も大型店舗の動向を見極める必要がある。今年度産の作況指数も価格面に影響すると考えられる。7月の日照不足も8月の高温で何とか取り戻した模様である。
	機械器具小売業	前月の地域店の伸びは、前年比103%であった。液晶・PDPテレビの好調は継続しており前年比150%と大きく伸びたものの、売価ダウンが続いており、売上金額伸び率が大幅に押上げるのが厳しくなってきた。猛暑によるルームエアコン等夏物商品は全般に好調であったが、今まで金額アップに寄与してきたオール電化関連機器は大幅なダウンに終わった。
	燃料小売業	卸価格の上昇により、小売価格は昨年の高値を更新するものの、未だにマージンは十分とは言えない。その他として、猛暑で前半は好調だった販売量も、後半は節約志向で戻すばかりであった。
	他に分類されない その他の小売業	新潟中越地震でようやく回復傾向にある観光客がまたも当地へ来なくなった。観光客数・売上ともに減少した。その他として猛暑による影響で和菓子や要冷蔵の海産物などの売上が減少した。
商店街	近江町市場	売上は伸び悩んでいる。客数の減少が見受けられるが、猛暑のためではないかと考えられる。
	尾張町商店街	猛暑の影響で客足が伸びずに苦戦をした。去年に引き続き、異常気象というにはあまりに酷であり、商業の活力が見えて来ない。景気の停滞すら暑さで止まっているともいうのか。厳しい現実には戸惑う。
	片町商店街	月初めは猛暑で夏物商品の売行きは好調だったが、お盆明けは鈍化した。ただ、好天続きで観光客が増加し、土産物を扱う店舗は好調であった。観光客は安価なホテルに宿泊し、郷土料理などは口にせず、コンビニ弁当で食事を済ませるという傾向が見られる。
サービス業	旅館、ホテル①	中越沖地震の影響なのか昨年より宿泊客は減少している。また石油の高騰等も影響しているものと思われる。
	旅館、ホテル②	高稼働月の夏休みに期待を掛け、ファミリー、自家用車利用者に対してマイカーキャンペーンを展開した。キャンペーン自体の効果は見られたものの、宿泊施設の下げ止まりについては依然として厳しい状況が見られ、地震の風評被害の払拭が完全ではない様相である。
	旅館、ホテル③	前月が全体的に上向きであったが、8月は対前年比84.6%の売上となった。お盆期間の売上も対前年比81.0%であり、これらを見ると個人客の戻りは遅いと思われる。
	自動車整備業	継続検査実績車輦数は、前年同月比3.9%増、前月比19.5%減となった。新規検査状況は、前年同月比3.2%減、前月比23.0%減となった。

情報連絡一覧票 (石川県中央会・平成19年8月分)

建設業	一般土木建築工事業	一般競争入札の導入により、入札応募対象物件が大幅に増え、一部では受注量が増加した業者もいる反面、公共工事の受注がゼロで見えない業者もあり、バランスが取れない厳しい状況である。公共工事費の大幅削減は競争の激化を招き、ダンピング受注の横行など工事の受注難が続いており、景況の改善は依然として見られない。
	板金・金物工事業	組員（事業主）の世代交代が進みつつあるが、後継者がいなくて、近い将来廃業せざるを得ない事業主も出てくるのが十分予測できる状況にある。
	室内装飾工事業	売上は増加傾向にあるものの、一度下がった請負単価を上げることは難しく、採算は取れていない状況である。
	管工事業	ガス供給工事件数も給水装置工事件数も前年に比べ減少している。
運輸業	一般貨物自動車運送業①	軽油の価格が安定しないため、運賃への転嫁交渉がやりにくい。価格の安定化が望まれる。
	一般貨物自動車運送業②	取引高は、例年8月はお盆休みでダウンするが、今年は荷動きが不安定に推移し、前年同月に比べ減少した。軽油価格も引き続き値上げしており、苦しい経営を強いられている。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等